

組織と専門職の取引構造

——台湾の弁理士を事例として——

中 本 龍 市*

Transaction Structure among Organizations and Professionals

—The case of Patent Agents and Attorneys in Taiwan—

Ryuichi NAKAMOTO

1. はじめに

本研究の目的は、組織と専門職の間の取引構造を明らかにすることである。具体的には、台湾の事例を用いて、主要な企業ならびに研究機関と弁理士との間の取引構造を分析する。

取引構造に関する既存研究は、自動車産業などに見られる系列取引において蓄積がある。ただし、自動車産業の系列取引の場合には、水平的な取引関係ではなく、下請の編成という階層関係が持ち込まれた取引である（清ほか、1976）。そこでは、資本関係や役員派遣などによって取引相手をコントロールすることができる。一方で、組織と専門職の取引関係には、階層構造やそれに伴うコントロールの方法を持ち込みにくい。さらに、専門知識による情報の非対称性が存在し、取引が困難になる。

このような背景があるため、既存研究が対象としてきた自動車産業と、取引の前提条件が大きく異なる。このような前提条件の下で、組織と専門職の間には、どのような取引構造が観察できるであろうか。これが本研究での問いである。

2. 既存研究の検討

2-1. 取引の内部化と外部化

取引の場合には、内部化するか外部化するかというメイクオアバイの意思決定を考える必要がある。その場合、内部化と外部化の割合に応じて、(1)100%を内部化、(2)部分的に外部化、(3)100%を外部化、という3つの類型が想定される。

(1)の場合には、組織内部であるため、その活動に対して監視や命令は容易であるが、取引の停止や代替的な取引相手への切り替えといった牽制方法が取りにくい。(3)の場合に

* 現代マネジメント学部 現代マネジメント学科

は、取引の停止や代替的な取引相手への切り替えといった形で牽制することは可能であるが、活動の監視や命令が及びにくい。(2)の場合には、(1)と(2)の利点と欠点を内包した取引となる(延岡, 1999)。

取引の外部化の場合には、さらに考えるべきことが三つある。

第一に、取引の集中度、依存度である。つまり、何社の取引相手に、どのように発注するかである(延岡, 1999; 近能, 2004)。取引相手が複数の場合には、取引相手の間で牽制することは可能である。一方で、集中度を減らすと、一社あたり発注が相対的に小さくなるため、スケールメリットが期待できないし、取引相手から関係特殊資産への投資を引き出しにくい。

第二に、取引期間である。長期的取引によって、信頼関係が構築され、関係特殊資産への投資が可能である。ただし、長期的な固定的取引は、受注者側の独占を招き、取引相手からの誘因を引き出しにくくなることに注意を要する。

第三に、ネットワーク構造の効果である(Uzzi, 1996; 近能, 2002; 武石, 2003)。複数の取引相手が構成しているネットワーク構造に「埋め込まれている」ことによって信頼関係が構築され知識移転や学習が促進される。しかし過度な「埋め込み」は革新を阻害する。

ここまで、自動車産業で蓄積された既存研究を中心に整理してきた。ところが、弁理士を取引相手とする場合、前提条件が大きく異なる。では、専門職を取引相手とする場合にはどのような問題が起こるのだろうか。次節で検討したい。

2-2. 専門職との取引

専門職を取引相手にする場合に問題となるのは、以下の三点である。第一に、専門職は独立しているため、また、専門知識を背景にしているため、資本や人的関係を通した統制が使えないことである。第二に、発注側と受注側で情報の非対称性が存在すること、第三に、取引時点では成果を評価できないこと、である¹⁾。

犬塚(2009)や中本・高井(2015)では、大手民間企業を対象に、弁理士との取引構造を分析している。これらの研究では、取引構造に集中化や複数調達が見られることが明らかになっている。また、Nakamoto et al. (2014)は、日本の国立大学法人を対象とする分析で、民間企業に比較して、取引相手が極めて分散化していること、そして、(1)合理性、(2)正統性、(3)社会ネットワークによる影響を受けて取引相手を選択することを明らかにしている。

より実務的な分析の例として、アップロード(2010)では、日本国内の出願上位の企業を対象に、取引相手になっている弁理士をリスト化している。それによれば、多くの企業は、(1)分散しているが特定の事務所に絞り込んで発注している、(2)自社内に知財部門を有している、(3)特定の事務所と自社内と並行して発注している、(4)極端に分散化している、といった4つのパターンが見られることが分かっている。

3. 分析の背景

3-1. 弁理士の業務と取引

弁理士との取引においては、特許明細書が一つの重要な成果物である²⁾。ただし、この成果物の質が明らかになるまで時間がかかる。つまり、形式的には、特許明細書が完成し引き渡されれば取引は完了しているが、成果物の質が明らかになるのはずっと後のことである。よって取引の成否をすぐに判断できない。

この条件下で、取引相手を統制するには、(1)自社内部で同等の能力を持ち評価できるようになる、(2)成果物の質が明らかになるまで時間の経過を待つ、(3)複数調達や発注量の増減によって牽制する、といった手段などに限られる。そして、(1)の場合でも、自社内の弁理士が正しく機能しているか把握しにくい。(2)の場合でも、仕事の質が明らかになった時点で、将来的にもその質が続くとは限らない。(3)の場合でも、監視や牽制の効果には限界がある。また、弁理士の能力が低いことが明らかになったとしても、他の弁理士を新たに査定しなければならず、極めて時間がかかる³⁾。

このように自動車部品の取引と異なり、容易に取引の成果物、すなわち特許明細書の質が評価できないという点で取引が複雑である。その場合に、組織フィールド内部での評判や正統性による、新しさの不利益 (Stinchcombe, 1965) が生まれる可能性がある。つまり、過去の組織ルーティンに従って取引相手を選択することが選好されるかもしれない⁴⁾。逆に、成果物を取引時点で評価できないことによって、弁理士側はキャリアに関係なく、経済合理的に取引価格のみをシグナルにせざるを得ないこともある⁵⁾。

このような特徴を持つ取引では、経済合理的な取引や自動車産業などの他産業で見られる典型的な取引構造とどのような違いが見られるだろうか。

3-2. 台湾の弁理士

台湾の場合は、弁理士に相当する資格は、専利師、あるいは専利代理人と呼ばれる。専利師と専利代理人の違いは、それぞれの根拠となる法律の違いである。専利師は、「専利師法規定」により、専利代理人は、専利師法施行前の「専利代理人管理規則」による。台湾では、2008年になってようやく弁理士に関する法（専利師法）が施行されることになったという点で極めて特異な経路をたどった。

台湾を取り上げた理由は、(1)知的財産の保護について欧米の資本主義諸国との共通理解があるため、(2)IT産業の急激な成長のため知的財産戦略を重視しているため、である。

4. 分析方法

4-1. データソース

台湾特許当局のデータベース（中華民国専利資訊検索系統）を用いた⁶⁾。データ収集期間は、申請日基準で、2008年から2013年末の6年間である。台湾で正式に弁理士資格の法律が施行されたのが、2008年1月であるため、それ以降とする。

4-2. データ収集の対象

データを収集する対象は、多数の特許を出願している組織に絞る必要がある。そこで、民間企業からは、台湾証券取引所指数（TWSE50）に基づいて、コア50から選ぶ。ただし、コア50の中には、流通や金融などの非製造業が含まれる。これらを除外して、研究開発志向の企業のみを対象とした⁷⁾。

その結果、台湾積體電路製造（TSMC）、宏達國際電子（HTC）、聯發科技（MEDIATEK）、廣達電腦（QUANTA）、緯創資通（WISTRON）、日月光半導體（ASE）、中國鋼鐵、寶成工業、遠東新世紀、正新橡膠工業、力成科技（POWERTECH）、中華電信、遠傳電信、矽品精密（SILICONWARE）、臺灣玻璃、台灣大哥大、臺灣塑膠、宸鴻光電（TPK）、宏碁（ACER）、友達光電（AUO）、台達電子（DELTA）、聯華電子（UMC）、華碩電腦（ASUS）、仁寶電腦（COMPAL）、群創光電、光寶科技（LITE-ON）南亞塑膠が対象になった。

次に、民間部門と公的部門で弁理士との取引構造に違いが見られるか、を確かめるため、台湾を代表する以下の国立研究機関や大学を対象とした。国際ランキングと予算規模、そして出願登録数を考慮して選択した。国立交通大学、国立成功大学、国立台湾大学、国立台北科技大学、国立清華大学、国立台湾科技大学、国立中興大学、国立陽明大学、国立長庚大学、国立中央大学、国立中山大学、財団法人工業技術研究院（ITRI）、国家実験研究院、国防部軍備局中山科学研究院、中央研究院（SINICA）である。

5. 分析結果

5-1. 取引構造の実態

それぞれの組織が、弁理士とどのような取引を結んでいるのかを記述的に明らかにする。発注先数、出願登録総数、一人当たりの出願登録数、上位10位の出願登録数、上位10位集中率、上位20位の出願登録数、上位20位集中率を算出した。表1に、民間部門、表2に公共部門での取引構造を示す。

表1 民間部門の取引構造

	台湾積體電路製造 (TSMC)	宏達國際電子 (HTC)	聯發科技 (MEDIATEK)	廣達電腦 (QUANTA)	緯創資通 (WISTRON)	日月光半導體 (ASE)	中國鋼鐵	寶成工業	遠東新世紀	正新橡膠工業
発注先数	11	28	13	18	29	14	14	9	8	2
出願登録数	3331	3797	3569	1641	5932	1247	2232	62	178	102
一人当たりの出願登録数	302.8	135.6	274.5	91.2	204.6	89.1	159.4	6.9	22.3	51.0
上位10位の実数	3330	3521	3558	1502	4860	1196	2030	62	178	102
上位10位集中率	100.0%	92.7%	99.7%	91.5%	81.9%	95.9%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%
上位20位の実数	3331	3784	3569	1641	5781	1247	2232	62	178	102
上位20位集中率	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	力成科技 (POWERTECH)	中華電信	遠傳電信	矽品精密 (SILICONWARE)	臺灣玻璃	台灣大哥大	臺灣塑膠	宸鴻光電 (TPK)	宏碁 (ACER)	友達光電 (AUO)
発注先数	4	9	1	2	5	2	7	13	34	40
出願登録数	495	1604	12	458	43	52	54	71	4926	8712
一人当たりの出願登録数	123.8	178.2	12.0	229.0	8.6	26.0	7.7	5.5	144.9	217.8
上位10位の実数	495	1604	12	458	43	52	54	67	4514	7658
上位10位集中率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.4%	91.6%	87.9%
上位20位の実数	495	1604	12	458	43	52	54	71	4889	8481
上位20位集中率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	97.3%

	台達電子 (DELTA)	聯華電子 (UMC)	華碩電腦 (ASUS)	仁寶電腦 (COMPAL)	群創光電	光寶科技 (LITE-ON)	南亞塑膠	平均値	最大値	最小値
発注先数	21	12.0	33.0	13.0	22	18	4	14.3	40	1
出願登録数	3200	1586.0	1760.0	951.0	1232	263	32	1760.8	8712.0	12.0
一人当たりの出願登録数	152.4	132.2	53.3	73.2	56.0	14.6	8.0	103.0	302.8	5.5
上位10位の実数	2873	1555.0	1414.0	945.0	1071	235	32	1608.2	7658.0	12.0
上位10位集中率	89.8%	98.0%	80.3%	99.4%	86.9%	89.4%	100.0%	95.2%	100.0%	80.3%
上位20位の実数	3197	1586.0	1722.0	951.0	1229	263	32	1743.2	8481.0	12.0
上位20位集中率	99.9%	100.0%	97.8%	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%	99.7%	100.0%	97.3%

注) 筆者作成。

組織と専門職の取引構造

表1によれば、民間部門の場合、平均値を見ると、発注先は、約14.3人であり、上位10位集中率は、95%を上回っている。発注先の最大値は、40、最小値は、1である。

民間企業は、発注先を絞り込んでおり、かつ、少数の発注先に集中的に発注していることが分かる。さらに、上位20位までの集中率の平均値を見ると、99.7%程度に達している。次節で詳細を示すように、集中的に少数の弁理士を取引先として選択していると言える。取引構造としては極めて集中的である。

表2 公的部門の取引構造

	交通大学	成功大学	台湾大学	台北科技大学	清華大学	台湾科技大学	中興大学	陽明大学	長庚大学
発注先数	75	58	98	67	76	51	55	8	13
出願登録数	1753	2334	2319	1098	1625	1289	1898	138	395
一人当たりの出願登録数	23.4	40.2	23.7	16.4	21.4	25.3	34.5	17.3	30.4
上位10位の実数	937	1493	1050	723	843	1041	1583	138	389
上位10位集中率	53.5%	64.0%	45.3%	65.8%	51.9%	80.8%	83.4%	100.0%	98.5%
上位20位の実数	1406	1973	1583	895	1228	1178	1819	138	395
上位20位集中率	80.2%	84.5%	68.3%	81.5%	75.6%	91.4%	95.8%	100.0%	100.0%

	中央大学	中山大学	財団法人 工業技術研究院	国家実験研究院	国防部軍備局 中山科学研究院	中央研究院	平均値	最大値	最小値
発注先数	58	27	31	45	30	26	47.9	98.0	8.0
出願登録数	798	986	1303	551	570	394	1946.7	13053.0	138.0
一人当たりの出願登録数	13.8	36.5	421.1	12.2	19.0	15.2	50.0	421.1	12.2
上位10位の実数	461	899	11278	370	500	319	1468.3	11278.0	138.0
上位10位集中率	57.8%	91.2%	86.4%	67.2%	87.7%	81.0%	74.3%	100.0%	45.3%
上位20位の実数	637	975	12990	480	548	381	1775.1	12990.0	138.0
上位20位集中率	79.8%	98.9%	99.5%	87.1%	96.1%	96.7%	89.0%	100.0%	68.3%

注) 筆者作成。

表2によれば、公的部門の場合、平均値を見ると、発注先は、約47.9人であり、上位10位集中率は、74%程度である。発注先の最大値は、98、最小値は、8である。

上位20位集中率まで広げてみても、89%程度である。出願登録数の平均値は、1946件となっている。公的部門の場合、民間部門の結果と比べると、発注先は分散化しており、かつ、発注件数の上位への集中度も相対的に低い。よって、民間部門と公的部門を比較すれば、取引構造として相対的に分散化している。

5-2. 組織ごとの取引相手

本節では、組織ごとに選択された弁理士を上位から整理する。表3に、民間部門、表4に公共部門での取引相手を示す。表中には、各組織が選んだ弁理士名、登場回数、資格区分、重複回数を示す。

表3から明らかになるように、専利師と専利代理人の資格区分では、どちらか一方に大きく偏っている傾向は見られない。利益相反の可能性が懸念されるにもかかわらず、民間の組織間で、弁理士の発注先の重複は多く見られることが分かる。

さらに表4も確認すると、国立研究機関と民間研究機関で多くの弁理士が重複していることが分かる。また、台湾の場合には、データ上は、内製化は見られなかったことに特徴がある。取引構造の類型としては、民間企業の場合には、100%の外注化を基軸にして、その発注先の複数化と集中化を使うことで取引相手を統制しようとしていることが推察される。一方で、公的機関の場合には、日本の大学と同様の傾向で相対的に分散化が見られる。

中 本 龍 市

表3 民間部門の取引相手

台灣積體電路製造 (TSMC)				宏達國際電子 (HTC)				聯發科技 (MEDIATEK)				廣達電腦 (QUANTA)				緯創資通 (WISTRON)				日月光半導體 (ASE)				中國鋼鐵				寶成工業					
順位	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	
1	洪澄文	1477	専利師	11	俞銘文	900	専利師	11	蔡坤財	336	専利師	11	戴俊彦	1077	代理人	7	俞銘文	205	代理人	9	高玉駿	310	専利師	7	陳天陽	13	専利師	0	7	陳天陽	13	専利師	0
2	顏麗順	1477	専利師	11	戴俊彦	524	代理人	7	洪澄文	978	専利師	11	李世章	336	専利師	11	吳豐任	963	専利師	5	林素華	181	専利師	10	楊毓雄	310	代理人	7	桂齊恆	9	律師	2	
3	蔡坤財	177	専利師	11	吳豐任	443	専利師	5	戴俊彦	736	代理人	7	林素華	162	専利師	10	陳啟樹	447	専利師	3	郭明輝	159	専利師	9	蔡坤財	283	専利師	11	蔡坤財	8	専利師	11	
4	李世章	177	専利師	11	洪澄文	433	専利師	11	吳豐任	585	専利師	5	郭明輝	162	専利師	9	廖和信	447	専利師	0	李世章	144	専利師	0	李世章	283	専利師	11	李世章	8	専利師	11	
5	蔡清福	9	専利師	1	顏麗順	433	専利師	11	許錦迪	107	不明	6	顏麗順	128	専利師	11	高玉駿	366	専利師	7	蔡素賢	143	専利師	1	蔡素賢	272	専利師	1	林益都	8	専利師	3	
6	蔡玉珍	5	不明	3	葉璟宗	422	専利師	8	王恕怡	70	不明	4	洪澄文	128	専利師	11	楊毓雄	366	代理人	7	蕭鴻清	136	代理人	7	桂齊恆	155	律師	2	謝紹盛	5	不明	1	
7	蔡素賢	4	専利師	0	蕭鴻清	289	代理人	7	劉育志	53	代理人	3	涂錦玲	123	専利師	11	陳長文	349	専利師	11	陳長文	76	代理人	2	花瑞銘	139	代理人	2	謝宏源	5	代理人	0	
8	馮博生	2	専利師	2	林素華	96	専利師	10	陳翠華	29	専利師	3	高玉駿	47	専利師	7	顏麗順	348	専利師	11	涂錦玲	65	専利師	6	林景郁	110	専利師	3	林坤成	5	専利師	1	
9	林素華	1	専利師	10	郭明輝	96	専利師	9	林素華	11	専利師	10	楊毓雄	47	代理人	7	俞銘文	254	代理人	9	花瑞銘	44	代理人	2	陳啟群	85	専利師	5	謝宏源	1	専利師	3	
10	涂錦玲	1	専利師	6	蔡坤財	85	専利師	11	郭博生	9	専利師	2	郭啟群	33	代理人	5	葉璟宗	243	専利師	8	金玉書	43	不明	2	陳文部	85	代理人	5					
11	李宗德	1	代理人	1	李世章	85	専利師	11	吳夢安	5	不明	0	陳文部	33	代理人	5	蔡坤財	116	専利師	11	葉璟宗	20	専利師	8	陳清田	77	専利師	2					
12					陳翠華	68	専利師	3	蔡玉珍	4	不明	3	謝志敏	28	不明	1	李世章	116	専利師	11	劉育志	20	代理人	3	康清敬	71	代理人	2					
13					花瑞銘	22	代理人	2	郭明輝	2	専利師	9	陶露	18	専利師	0	林素華	95	専利師	10	莊志強	7	代理人	4	謝宏源	43	専利師	3					
14					金玉書	22	不明	2				李國光	14	代理人	1	郭明輝	95	専利師	9	蔡坤旺	4	専利師	0	金玉書	11	不明	2						
15					王恕怡	21	不明	4				張仲雄	14	代理人	0	涂錦玲	93	専利師	6														
16					許錦迪	20	不明	6				林育甫	14	代理人	0	陳啟群	92	専利師	5														
17					陳明哲	14	専利師	0				王至勤	12	不明	0	陳文部	92	代理人	5														
18					郭雨嵐	4	専利師	2				楊長峯	6	専利師	0	許錦迪	79	不明	6														
19					林發立	4	専利師	2								李文賢	77	専利師	2														
20					楊代強	3	代理人	2								莊志強	66	代理人	4														

遠東新世紀				正新橡膠工業				力成科技 (POWERTECH)				中華電信				遠傳電信				矽品精密 (SILICONWARE)				臺灣玻璃				台灣大哥大				
順位	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数
1	蔡明輝	38	専利師	11	廖本輝	101	代理人	0	許耀祥	325	専利師	0	李保祿	1243	代理人	0	林火泉	12	代理人	0	陳昭誠	457	専利師	1	嚴毓杰	39	代理人	0	郭雨嵐	26	専利師	2
2	李世章	38	専利師	11	陳瑞田	1	専利師	2	蔡朝安	132	専利師	0	陳昭誠	286	専利師	1					陳長文	1	代理人	2	謝宏源	1	専利師	3	林發立	26	専利師	2
3	高玉駿	36	専利師	7					俞銘文	19	代理人	9	劉建忠	27	代理人	0								林景郁	1	専利師	3					
4	楊毓雄	36	代理人	7					葉璟宗	19	専利師	8	桂齊恆	21	律師	2								洪澄文	1	専利師	11					
5	陳長文	20	代理人	2									謝宏源	14	専利師	3								顏麗順	1	専利師	11					
6	吳家豪	6	代理人	0									林景郁	7	専利師	3																
7	郭啟群	2	専利師	5									謝佩玲	2	専利師	1																
8	陳文部	2	代理人	5									王耀華	2	専利師	1																
9													洪耀庭	2	代理人	0																
9													王耀華	2	専利師	1																

臺灣塑膠				宸鴻光電 (TPK)				宏碁 (ACER)				友達光電 (AUO)				台達電子 (DELTA)				聯華電子 (UMC)				華碩電腦 (ASUS)				仁寶電腦 (COMPAL)					
順位	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	
1	蘇精華	19	不明	1	沈耀鴻	13	代理人	0	俞銘文	957	代理人	9	戴俊彦	530	代理人	7	俞銘文	356	代理人	9	俞銘文	342	代理人	9	俞銘文	342	代理人	9	俞銘文	342	代理人	9	
2	高玉駿	8	専利師	7	謝連仁	12	代理人	7	葉璟宗	823	専利師	8	戴俊彦	444	専利師	5	蕭鴻清	208	代理人	7	葉璟宗	235	専利師	7	葉璟宗	235	専利師	8					
3	楊毓雄	8	代理人	7	賴經臣	8	専利師	0	洪澄文	684	専利師	11	吳豐任	958	専利師	5	郭曉文	195	代理人	2	劉正格	200	代理人	2	蕭鴻清	110	代理人	7	蕭鴻清	110	代理人	7	
4	張紹建	7	不明	1	宿希成	8	専利師	0	顏麗順	684	専利師	11	葉璟宗	818	専利師	8	俞銘文	116	代理人	9	葉璟宗	152	専利師	8	蔡坤財	91	専利師	11	蔡坤財	91	専利師	11	
5	蘇麗格	7	不明	0	陳惠慈	6	専利師	0	陳淑娟	390	専利師	3	蔡坤財	795	専利師	11	蕭鴻清	89	代理人	7	蔡坤財	112	専利師	11	李世章	91	専利師	11	李世章	91	専利師	11	
6	陳瑞田	4	専利師	2	蔡坤財	5	専利師	11	廖和信	390	専利師	3	李世章	778	専利師	11	許錦迪	73	不明	6	李世章	112	専利師	11	曾國軒	18	代理人	1	曾國軒	18	代理人	1	
7	康清敬	1	代理人	1	2	李世章	5	専利師	11	戴俊彦	184	代理人	7	郭曉文	636	代理人	2	葉璟宗	27	専利師	8	許錦迪	84	不明	1	王麗茹	18	代理人	1	王麗茹	18	代理人	1
8					洪澄文	4	専利師	11	吳豐任	184	専利師	5	蕭鴻清	634	代理人	7	林素華	27	専利師	10	葉明源	78	専利師	1	李秋成	14	専利師	1	李秋成	14	専利師	1	
9					顏麗順	4	専利師	11	蕭鴻清	116	代理人	7	李貞儀	320	専利師	0	郭明輝	27	専利師	9	林素華	56	専利師	10	蘇建太	13	専利師	0	蘇建太	13	専利師	0	
10					陳家輝	2	律師	1	李國光	102	代理人	1	許世正	182	代理人	10	涂錦玲	27	専利師	6	郭明輝	56	専利師	9	蘇清澤	13	代理人	0	蘇清澤	13	代理人	0	
11					賴正建	2	専利師	11	黃于真	102	代理人	0	李文賢	124	専利師	2	2	謝志敏	47	不明	4	謝志敏	47	不明	1	林義傑	4	代理人	0	林義傑	4	代理人	0
12					許世正	1	代理人	2	高玉駿	54	専利師	7	林素華	100	専利師	10	楊代強	6	代理人	11	葉東順	44	専利師	11	劉亞君	1	代理人	0	劉亞君	1	代理人	0	
13					蔡漢陽	1	代理人	0	楊毓雄	54	代理人	7	郭明輝	100	専利師	9																	
14					蔡玉珍	49	不明	3	劉育志	83	代理人	3																					
15					郭啟群	31	専利師	5	許錦迪	79	不明	6																					
16					陳文部	31	代理人	5	陳翠華	79	専利師	3																					
17					劉光德	17	代理人	0	洪澄文	69	専利師	11																					
18					林殷世	13	代理人	0	顏麗順	69	専利師	11																					
19					黃仕勤	13	代理人	0	楊大德	65	不明	0																					
20					葉明源	11	専利師	1	馮博生	55	専利師	2																					

群南光電				光寶科技 (LITE-ON)				南亞塑膠				
順位	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数	弁理士名	登場回数	資格	重版回数
1	洪澄文	184	専利師	11	郭啟群	57	専利師	5	周重進	13	専利師	0
2	顏麗順	184	専利師	11	陳文部	57	代理人	1	蔡建達	7	不明	1
3	林素華	163	専利師	10	莊志強	42	代理人	4	莊志強	6	代理人	4
4	郭明輝	163	専利師	9	王聖平	19	不明	0	蘇精華	6	不明	1
5	涂錦玲	95	専利師	6	許錦迪	12	不明	6				
6	鄭正紹	70	代理人	2	陳家輝	12	律師	1				
7	莊志強	57	代理人	4	賴正建	12						

組織と専門職の取引構造

表4 公的部門の取引相手

交通大學				成功大學				台灣大學				台北科技大學				清華大學				台灣科技大學				中興大學				陽明大學				
順位	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数
1	林火泉	220	代理人	4	劉正名	306	代理人	2	陳昭誠	230	専利師	4	高玉駿	156	専利師	9	李國光	104	代理人	5	詹銘文	237	代理人	8	高玉駿	276	専利師	9	王正利	67	代理人	1
2	黃孝輝	109	専利師	3	蘇建太	239	専利師	4	洪澄文	119	専利師	4	楊祖謙	156	代理人	9	張仲謙	104	代理人	1	蕭錦清	125	代理人	2	楊祖謙	276	代理人	9	蔡坤旺	56	専利師	2
3	陳昭誠	106	専利師	4	吳冠雄	239	専利師	2	顏昭誠	117	専利師	4	王立成	100	代理人	1	蔡朝安	100	専利師	1	劉育雅	118	代理人	2	楊祖謙	177	代理人	1	江清合	4	代理人	2
4	李國光	87	代理人	5	蔡清福	143	専利師	7	蔡清福	114	専利師	7	賴安國	95	専利師	1	黃志揚	97	代理人	0	林育雅	115	代理人	3	蔡坤旺	164	専利師	2	陳昭誠	4	専利師	4
5	黃于真	74	代理人	0	蔡坤財	116	専利師	4	郭雨嵐	101	専利師	4	李政憲	93	代理人	0	蘇建太	95	代理人	4	葉璟宗	112	専利師	5	桂齊恆	160	律師	2	楊秋群	2	専利師	4
6	蔡清福	72	専利師	7	李世章	89	専利師	4	林登立	101	専利師	4	李保謙	37	代理人	2	王清煌	81	代理人	2	洪浩文	92	専利師	4	蔡坤旺	116	専利師	4	陳文部	2	代理人	4
7	蘇建太	70	専利師	4	高玉駿	89	専利師	9	詹銘文	83	代理人	8	顏秋祥	22	専利師	4	江國慶	70	専利師	1	顏昭誠	92	専利師	4	李世章	116	専利師	4	文少華	2	代理人	0
8	高玉駿	67	専利師	9	楊祖謙	89	代理人	9	葉璟宗	66	専利師	5	陳文部	22	代理人	4	高玉駿	64	専利師	0	莊世超	86	専利師	0	楊秋群	105	専利師	4	蔡清福	1	専利師	7
9	楊祖謙	67	代理人	9	葉大慧	79	代理人	3	陳建仁	60	代理人	0	洪兆順	21	専利師	3	楊祖謙	64	代理人	9	謝志敏	37	不明	2	陳文部	105	代理人	4				4
10	詹銘文	65	代理人	8	陳淑舜	77	代理人	3	蔡坤財	59	専利師	3	蔡坤財	21	専利師	4	王正利	64	代理人	1	王清煌	27	代理人	2	趙元華	88	専利師	0				0
11	蔡坤財	64	専利師	4	桂齊恆	71	律師	2	馬錦垣	55	代理人	0	李世章	21	専利師	4	吳冠雄	57	専利師	2	潘海清	21	代理人	0	顏昭誠	52	代理人	0				0
12	李世章	64	専利師	4	蔡秋敏	55	専利師	1	葉秀英	53	代理人	0	何崇熙	21	代理人	0	馬博生	57	専利師	1	謝清昕	19	不明	0	何崇熙	44	専利師	1				1
13	蔡朝安	59	専利師	1	楊秋群	46	専利師	4	黃淑珍	52	代理人	0	蔡嘉慧	19	専利師	0	林育雅	53	代理人	3	許世正	17	代理人	2	陳長文	33	代理人	1				1
14	林志鴻	44	専利師	1	陳文部	46	代理人	4	林文杰	47	代理人	1	林育雅	18	代理人	3	葉信金	44	専利師	1	江國慶	16	専利師	1	林景郁	32	専利師	0				0
15	葉璟宗	42	専利師	5	郭雨嵐	46	専利師	4	黃孝輝	45	専利師	3	謝志敏	18	不明	2	蘇清澤	37	代理人	2	莊志強	15	代理人	1	朱世仁	31	専利師	0				0
16	蔡清澤	38	代理人	2	林登立	46	専利師	4	李保謙	41	代理人	2	謝金原	16	代理人	3	歐永福	35	代理人	3	胡建全	12	代理人	0	蘇建太	10	代理人	4				4
17	陳昭誠	35	代理人	4	顏昭誠	45	代理人	2	高玉駿	40	専利師	9	鄭仁混	16	不明	0	鄭淑芬	30	代理人	1	蔡清福	11	専利師	7	陳壽春	10	代理人	0				0
18	鄭淑芬	32	代理人	1	陳金鈴	44	不明	0	楊祖謙	40	代理人	9	廖昭昌	15	代理人	0	楊敏均	26	代理人	1	劉紀盛	9	不明	2	詹銘文	8	代理人	8				8
19	吳冠雄	28	専利師	2	閔敬泰	41	専利師	1	王立成	40	代理人	1	葉信金	14	専利師	1	陳展俊	24	専利師	0	謝金原	9	代理人	3	葉璟宗	8	専利師	5				5
20	何金華	28	代理人	0	劉育雅	40	代理人	1	賴安國	40	専利師	1	劉紀盛	14	不明	2	葉大慧	22	代理人	3	李貞儀	8	専利師	1	江清合	8	代理人	2				2

長庚大学				中央大学				中山大学				財団法人工業技術研究院				国家実験研究院				国防産業総合科学研究所				中央研究院				
順位	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数	弁理士名	登場回数	資格	重複回数
1	饒淵輝	99	代理人	1	蔡坤財	90	専利師	4	張凱斌	234	代理人	0	詹銘文	2198	代理人	8	李國光	57	代理人	5	歐春輝	131	代理人	3	蕭錦清	50	代理人	0
2	林火泉	86	代理人	4	李世章	90	専利師	4	陳淑舜	168	代理人	1	洪澄文	1881	専利師	4	張仲謙	57	代理人	4	林育雅	95	代理人	3	陳長文	42	代理人	1
3	高玉駿	57	専利師	9	蔡秋敏	61	代理人	3	蔡秋敏	132	専利師	1	顏昭誠	1881	専利師	4	高玉駿	44	専利師	9	謝志敏	95	不明	2	郭雨嵐	42	代理人	1
4	楊祖謙	57	代理人	9	蔡秀英	42	代理人	3	劉育雅	123	代理人	2	葉璟宗	1305	専利師	5	楊祖謙	44	代理人	9	蔡秀英	50	代理人	1	林登立	42	専利師	4
5	黃孝輝	31	専利師	3	蘇建太	32	専利師	4	顏昭誠	66	不明	0	蕭錦清	858	代理人	2	傅尹坤	34	代理人	1	賴國裕	50	代理人	1	謝正格	39	代理人	2
6	李國光	17	代理人	5	賴國裕	31	代理人	1	高玉駿	48	専利師	9	郭明輝	721	専利師	1	蔡清福	30	専利師	7	王清煌	42	代理人	2	洪兆順	29	専利師	3
7	張仲謙	17	代理人	4	郭明輝	30	代理人	1	郭明輝	48	代理人	9	林志混	12	不明	1	蔡秋敏	27	代理人	3	田國慶	25	代理人	0	蔡秋敏	25	専利師	3
8	蔡秀英	15	代理人	3	李國光	29	代理人	5	黃耀輝	28	代理人	0	劉紀盛	628	不明	2	蔡秀英	26	代理人	3	莊志強	10	代理人	1	詹銘文	18	専利師	4
9	葉大慧	7	代理人	3	張仲謙	29	代理人	4	洪澄文	26	専利師	4	謝金原	605	代理人	3	李保謙	26	代理人	2	許世正	8	代理人	2	顏昭誠	18	専利師	4
10	蔡清福	3	専利師	7	傅尹坤	27	代理人	1	顏昭誠	26	専利師	4	許世正	480	代理人	2	郭曉文	25	代理人	0	饒廣興	7	代理人	1	徐安昇	14	専利師	0
11	陳昭誠	2	専利師	4	賴經亞	24	専利師	0	陳瑞田	18	専利師	0	徐錦鈞	449	専利師	0	林蘭鈞	17	代理人	1	詹銘文	6	代理人	8	鄭智陽	13	不明	0
12	陳昭誠	2	専利師	4	邵希成	24	専利師	0	張清敬	17	代理人	1	楊敏均	368	専利師	1	楊敏均	16	代理人	1	饒廣興	6	不明	0	林火泉	12	代理人	4
13	陳文部	2	代理人	4	蘇清澤	19	代理人	2	林文杰	9	代理人	1	陳昭誠	287	専利師	4	潘燕昇	15	不明	0	伍尚文	6	不明	0	江清合	9	代理人	2
14					陳聰浩	19	専利師	1	陳文騰	8	専利師	0	洪兆順	212	専利師	3	林火泉	11	代理人	4	高玉駿	5	専利師	9	郭明輝	6	専利師	1
15					詹銘文	18	代理人	8	高博生	204	専利師	1	蘇顯謙	10	代理人	2	楊祖謙	5	代理人	9	林素華	6	専利師	1				
16					楊益松	17	代理人	0	葉璟宗	5	専利師	5	郭雨嵐	42	専利師	4	楊代強	10	代理人	1	桂齊恆	4	律師	2	蔡坤旺	4	専利師	2
17					楊代強	15	代理人	1	郭雨嵐	4	専利師	4	林登立	42	専利師	4	葉大慧	9	代理人	3	何崇熙	4	専利師	3	陳昭誠	3	代理人	5
18					林火泉	14	代理人	4	葉璟宗	4	専利師	4	吳豐仁	37	専利師	0	李貞儀	8	専利師	1	謝金原	4	代理人	3	葉秋謙	3	代理人	4
19					蕭錦清	13	代理人	2	林蘭鈞	3	代理人	1	戴俊彦	37	代理人	0	李文賢	8	専利師	0	林坤成	4	専利師	1	侯德銘	3	専利師	0
20					林志鴻	13	専利師	1	蘇清福	2	代理人	2	蔡清福	34	専利師	7	康清敬	6	代理人	1	葉顯謙	4	専利師	0	詹銘文	3	代理人	8

注) 筆者作成。代理人は、専利代理人、律師は弁護士を示す。個人名は、繁体字のままである。

6. 結論

6-1. 結論

本研究では、台湾の弁理士の事例を用いて、組織と専門職の取引構造を分析してきた。専門職との取引の場合には、自動車産業における系列取引とは異なる前提条件があり、どのような取引構造の特徴として現れるのかを明らかにしようとした。

分析の結果、(1)台湾の場合にはほぼ100%が外注化されている、(2)取引相手の複数化や集中化が見られる、(3)民間企業は公的組織よりも取引相手数を絞り込み上位集中度も高い、(4)取引相手の弁理士には重複が見られる、といったことが明らかになった。

つまり、取引相手の実数は多いものの、自動車産業や一般的な民間企業に見られるような集中化と同時に複数化が見られることが明らかになった。また、系列取引で見られたように取引相手の重複が見られる。

6-2. インプリケーション

なぜこのような取引構造が観察されたのか。つまり、擬似的に経済合理的な取引構造が観察されるのか。

一つ目には、逆説的であるが取引の成果物である特許明細書の価値を評価するのは極めて困難であるからであろう。成果物の価値を正確に把握できなければ、取引の基準は価格のみを使うしかない⁸⁾。そうだとすれば、他の取引と同様の経済合理性に基づいた方法で、これまでのルーティンを応用して処理することが効率的である。

二つ目には、弁理士の選択にも、集中化とスケールメリットならびに複数調達といった経済合理的な取引ロジックが流れ込んでいるということである⁹⁾。成果物の質が永遠に分からないとしても、経済合理的なロジックが適用されているという意味で興味深い。Fligstein (1993) が明らかにしたように、財務のロジックが支配的になれば、購買における入札といったルーティンが、純粋な経済取引が馴染まない場合でも適用されていくということが考えられよう。

以下に、本研究の貢献を述べる。

第一に、取引構造を分析したことである。取引構造は、定量データを取得するのが困難であり、既存研究が極めて限られている。取引関係を実証的に分析した研究は自動車産業などといった特定の産業を除いてほとんど存在していない。第二に、専門職の取引特性を踏まえて分析を行ったことである。既存研究の想定している前提条件と異なる場合を分析できた。第三に、取引構造の国際研究を実施したことである。台湾の弁理士を対象としたことで国際比較研究の基盤を提供できた。

6-3. 限界と将来の研究の方向性

本研究の限界と将来の研究の方向性は、以下の通りである。

第一に、公開データに基づく研究であるため、組織側、あるいは、弁理士側がどのように意思決定を行っているのかを明らかにできていない。今後は、どのような交渉や意思決定、ルーティンがあるのかを定性調査で明らかにする必要があるだろう。

第二に、本稿は、台湾の事例しか分析していない。各国ごとに知的財産保護の制度が異なるため、弁理士の業務範囲や組織との関わり方も異なる。将来的には多国間の国際比較研究が必要である。

第三に、6年間を統合したクロスセクショナルなデータの限界である。将来的には、取引の期間や主要発注先の変化の追跡が必要であり、過程を分析することで取引構造の最適化をどのように進めてきたのかを明らかにする必要がある。

注

- 1) 取引時点で、成果に対する評価ができないとしても、合理的に判断しているように見せかけなければならないか、合理的な判断と外形的に同じ手順をたどらなければならない。後述するように、取引の成果物である特許明細書の価値を正しく評価するのは難しい。
- 2) もちろん、特許明細書に付随して知財戦略の提案力や係争の解決力も含まれるが、最も大事なものは特許明細書である。
- 3) このように、情報の非対称だけではなく、取引の時点で、価値が分からないものに、基礎研究、教育や古物、芸術作品などがある。芸術作品や古物は、鑑定や批評によって専門化コミュニティが評価を決める。だが、特許明細書の場合には、クレームの表現の巧みさは評価できるものの、その巧みさがどの程度の経済的価値をもたらすかは明らかにできないか、係争になってようやく明らかになる。つまり、事後的に市場が評価することが問題を複雑化させている。すべての特許明細書が係争の対象にならないため、経済的価値を算定することは難しい。また、組み合わせによって一つの技術を包括的に権利化する場合には、問題がさらに複雑になる。

組織と専門職の取引構造

- 4) その場合、新規参入者は、潜在的に高い参入障壁に直面することになる。スピンアウトの連鎖による事務所設立が見られるのもこのためである。中本・高井（2015）が明らかにしたように、武田薬品工業では、同社からスピンアウトした弁理士への発注が多くなっている。また、株式会社アイピックスのように、デンソーの知財部門がスピンアウトして設立されたという例もある。
- 5) こうしたパラドックスを回避するためにも、かつては、日本においては、標準報酬が定められていた。2001年に廃止された後は、高名な弁理士、事務所へも大量発注による特許明細書のディスカウント要求が多くなっているということが聞き取り調査でも明らかになった。
- 6) このデータベースは、中華民国經濟部智慧財産局が運用しており、中国語版と英語版が提供されている。ただし、英語版ではデータの収録範囲と検索機能に制約があるため、本研究で用いたデータは中国語版で検索し収集した。
- 7) ただし、以下は、極端に出願件数が少ないため除いた。裕隆汽車3件、和泰車0件、台湾化学纖維11件、台塑化0件、聯強0件、亞洲水泥0件、台肥3件、台泥7件である。また、鴻準は、弁理士の記入が0件であった。鴻海も90%以上が未記入であった。
- 8) 弁護士や会計士と比較すると、成果の質は見えにくい。また、問題が起こらなければ、特許明細書の質は、永遠に不問に付される可能性すらある。
- 9) 取引時点で、完全に成果物を評価できない、あるいは、確定できない場合に、経済合理性を優先した取引の基準が、弁理士の取引関係を改善するのかどうかは議論に値するであろう。例えば、法改正後、弁護士とともに弁理士も裁判に参加できるようになったが、係争時点で、当該の特許明細書を作成した弁理士は、当事者にならないかもしれない。同様のメカニズムが想定できないものを単純化して、過去の経験やルーティンを適用してしまうことは本質的な問題解決につながらない。擬似的に経済的な取引論理を導入することが、必ずしも取引の改善につながらないことは、内田（2008）が指摘している通りである。

参考文献

- アップロード（2010）『企業との関係がすべてわかる特許事務所年鑑2010』アップロード
- 犬塚篤（2009）「弁理士選定のメカニズム——筆頭代理人分析から見えてくるもの」『日本知財学会誌』6(2), pp. 27-33
- 内田樹（2008）『街場の教育論』ミシマ社
- 近能善範（2002）「自動車部品取引のネットワーク構造とサプライヤーのパフォーマンス」『組織科学』35(3), pp. 83-100
- 近能善範（2004）「サプライヤーの取引構造の歴史的推移：1973年から1998年にかけての定量分析」『産業学会研究年報』(19), pp. 69-78
- 清响一郎ほか（1976）「自動車部品産業における生産構造の研究——中——」『機械経済研究』(9), pp. 34-83
- 武石彰（2003）『分業と競争——競争優位のアウトソーシング・マネジメント』有斐閣
- 中本龍市・高井計吾（2015）「弁理士と医薬関連特許：専門職としての弁理士活用能力」『社会とマネジメント』12, pp. 21-34
- 延岡健太郎（1999）「日本自動車産業における部品調達構造の変化」『国民経済雑誌』180(3), pp. 57-69
- Nakamoto, R., Takai, K., and Noguchi, H. (2014) How does an Organization without Ability to Evaluate Partners Choose its Partners?: The Analysis of National Universities in Japan after 2004, *the Proceedings of the Association of Japanese Business Studies*

中 本 龍 市

- Fligstein, N. (1993) *The Transformation of Corporate Control*, Harvard University Press
- Stinchcombe, A. L. (1965) Organizations and Social Structure, In J. G. March eds. *Handbook of Organizations*, Rand MacNally, pp. 142–193
- Uzzi, B. (1996) The Sources and Consequences of Embeddedness for the Economic Performance of Organizations: The Network Effect, *American Sociological Review*, 61(4), pp. 674–698

ウェブサイト

「中華民國專利資料檢索系統」 <http://twpat.tipo.gov.tw/tipotwoc/tipotwkm>